

2018

6

vol.537

あなたがいて、わたし、がある。

ゆうあい

特集

「新任職員紹介」

昭和43年1月18日第三種郵便物認可  
6月号(平成30年8月1日発行)

<http://www.yuai.jp>



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
www.yuai.jp

## NEW LEADER 施設長に就任して

所長

おしま屋／サポートはまなす  
**細谷 武浩**



この度、平成30年4月1日付で「おしま屋」「サポートはまなす」の所長に就任いたしました。

昭和59年4月、ゆうあい養護学校高等部寄宿舎に就任以来、34年の月日が経ちましたが、今日まで10を超える施設や事業所に勤めてきました。そこで関わらせていただいた利用者の方々や様々な助言や叱咤激励をいただいた諸先輩、同僚、後輩との繋がりが、今の私の自信と財産です。

入職当時は、とにかく一日も早く目の前の利用者の方に認められたい一心で、毎日がむしゅらに向き合ってきました。私が気になって仕方が

ない利用者の方に全く相手にされず、最初は先輩の真似をしても上手くゆかず、悩み苦しみ「自分はこの仕事に向いていないのでは…」と諦めかけたときに初めてその方が私の話を聞いてくれたその瞬間、この仕事のおもしろさにハマってしまい、気がつけば今日に至っています。侑愛会は障がいを持つ人々のニーズに応じて様々な事業を展開してきました。その結果、現在は個々の障がい特性に適した支援ができ、その内容も多彩です。しかし全ての基本は侑愛会の勤務モットーのひとつである「限らない愛情」だと私は思います。

利用者の方は個に寄り添い、一緒に考えることで必ず支援のヒントを教えてください。それを学び取ることができるのが資質を持った職員です。そのような職員を育成することが、これまで多くの事業所を経験してきた私の責務だと思っています。

「おしま屋」「サポートはまなす」は高齢化対策や日中活動の再構築など、多くの課題がありますが、様々な意見やアイデアを取り入れ、さらに若い職員の力に期待しながら、私も微力ながら一緒に汗をかき、一致団結してこの難題に取り組む所存です。

施設長

おしま菌床きのこセンター  
**三山 美由紀**



この度、平成30年4月1日付けで「おしま菌床きのこセンター」の施設長に就任いたしました。

私は、平成9年、当施設の前身である「ワークショップはこだて第二分場」から、しいたけの栽培指導や開設に向けてのお手伝いをし、平成11年4月の開設と共に「おしま菌床きのこセンター」に入職しました。開設から数えて20年目の春を迎えています。

おしま菌床きのこセンターは「働く場」の必要性から生まれてきた経緯があります。元気な青年達に働く喜びを知って欲しいと新しく取り組ん

だしいたけ栽培でしたが、開設当初は、300キロのしいたけに四苦八苦、街灯を頼りに夜遅くまで採っていました。あれから20年経ち、今では年間が生しいたけを180トン出荷しています。道庁の調査では北海道第三位の成績で大規模生産者に位置するほどに成長しました。利用する方もわずか10名のスタートでしたが、今年度は定員から4名多い64名と侑ハウス、星が丘寮の利用者の皆さんを合わせ総勢120名が利用されています。知的に障がいがある在宅の方、施設やグループホームで暮らす方、自閉症の方など、働く場を求める利用者の皆さんのために施設や事業所が協力、連携してきた結果だと思っています。

開設以来、できるだけ多くの還元を行い利用する方々の自立に役立つ事を目標に掲げてきました。これからも利用者さんに働きがいのある場を提供するために、施設間で連携、協力し、利用する方々の声や願いを様々な形にして実践して来たことを忘れず、おしま菌床きのこセンターを継続していく事を職員一同、初心に返り、励みたいと思っています。これからも、よろしくお願い致します。

園長

七重浜こども園  
**杉本 聖子**



私は幼少期、野原を駆け回り、草花を摘み、大きな栗の木に登る毎日を過ごしました。夕方になるとすっかり家に帰ったのを覚えています。幼稚園まで30分の道を通っていましたが、初めて一人で歩かなければならなかった朝、心細くて「今日だけ」と母にお願いし、途中まで付いてきてもらいました。その安心感で、次の日からは一人で歩くことができました。折り紙やお絵かき、遊戯室のトランポリン、鉄棒に縄跳びを結んで作るブランコ。スキップが「上手だね」と褒められた思い出、やりたいことを尊重してもらった記憶が蘇ります。高校生になり進路に直面した

時、子どもと関わる仕事への思いが溢れ、専門的な勉強ができることをとても嬉しく思いました。子育ての為、仕事から離れ、「もう一度働きたい」という気持ちでいた時に縁あって働くことになったのが七重浜保育園です。3歳以上児とは朝から夕方まで外遊び。泥団子作りに、野球ごっこやドッジボール。七重浜海水浴場や西桔梗の野球場まで散歩しました。3歳未満児とは、個々の生活のリズムを大切にしながら信頼関係を築くことを心がけました。子どもや保護者とどう関わればよいか迷った時は経験豊富な先生が相談にのってくれ、一人ひとりの子どもの姿そのままを大事にすることを学ばせてもらいました。

4月から七重浜こども園の園長という大きなバトンを受け取り、その重みに負けそうになることもあります。しかし、今まで支えてもらった分を今度は私が返す番です。子ども、保護者、職員の思いに耳を傾け、言葉にし、失敗しながらも何度も繰り返し挑戦し続けることができたように、毎日を大切に、丁寧に過ごしていきたいと思っています。



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)